

目標未達成理由等の報告書

| 都道府県名 | 市町村名 | 地区名 | 事業実施年度 | 目標年度 | 事業実施主体 |
|-------|------|------|--------|------|--------|
| 青森県 | 青森市 | 野沢地区 | H29 | R1 | 青森市 |

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

| No. | 成果目標 | 目標未達成となった主な理由等 | 目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等 |
|-----|----------|--|--|
| 1 | 耕作放棄地の解消 | 耕作放棄地の解消については、現所有地の近郊で耕作放棄地を探しているが見つからないことによる。 | 農業委員会と連携して耕作放棄地の情報提供をするとともに、農地中間管理事業により隣接する地域の農地を含めて条件にあった農地のマッチングを進め令和4年度までに目標を達成させる。 |

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

| 成果目標項目(必須目標) | 未達成理由の総括 | 目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等 |
|--------------|--|---|
| 耕作放棄地の解消 | 耕作放棄地の解消については、現所有地の近郊で耕作放棄地を探しているが見つからないことによる。 | 農業委員会と連携して耕作放棄地の情報提供をするとともに、農地中間管理事業により隣接する地域の農地を含めて条件にあった農地のマッチングを進め、令和4年度までに目標を達成させる。 以上により、目標未達成の経営体への支援を行うとともに、引き続き、人・農地プランに係る取組により地区内の農地の有効利用等を促進し、地区内経営体が更なる経営発展できるよう支援を行っていく。 |

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

| |
|--|
| <p>1 担い手への農地利用集積について 農地利用最適化推進委員の現場活動により農地の出し手の掘り起こしに努め、農地中間管理事業による農地の集積・集約化を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 関係機関と連携し、農地中間管理事業、農業経営相談所、農業次世代人材投資事業などの活用を通じ、新規就農者の確保・育成のほか、担い手への農地集積、農業経営の法人化などを支援し、農業経営の体質強化を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 定期的な地域の話し合いを継続して実施し、地域の農業者及び関係団体等により、農業の問題・課題の共有化を図るとともに、適切な役割分担のもと、解決に向けた行動を促すことにより、実効性のあるプランの運用を図っていく。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 未達成の要因と課題を把握し、関係機関との連携によりフォローアップを図り、目標達成を促す。</p> |
|--|

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込とその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、必須目標となる地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他課題と対策等について記入する。